

製品名: JAK1(7G6)マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM12817**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ICC/IF
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:200, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	130kDa

抗原情報

遺伝子名	JAK1
別名	JAK1
遺伝子 ID	3716.0
SwissProt ID	P23458
免疫原	アミノ酸配列 960~1040 の JAK1 の合成ペプチド

背景

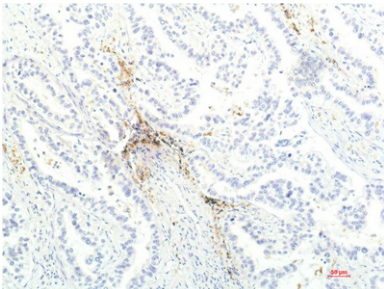
この遺伝子は、タンパク質チロシンキナーゼ (PTK) の一種である膜タンパク質をコードしており、PTK ドメインの N 末端側に第二のリン酸基転移酵素関連ドメインが存在することを特徴としています。コードされているキナーゼは、STAT タンパク質 (シグナル伝

達因子および転写活性化因子) をリン酸化して、インターフェロン α/β およびインターフェロン γ のシグナル伝達において重要な役割を果たします。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2016年3月],触媒活性: $ATP + a$ [タンパク質]-L-チロシン = a [タンパク質]-L-チロシンリン酸。 ,ドメイン: 2つのリン酸基転移酵素ドメインを有します。 2番目のドメインはおそらく触媒ドメインを含むと考えられます (類似性に基づく)。 一方、わずかな相違点の存在は、ドメイン 1 の役割が異なることを示唆しています。 ,ドメイン: FERM ドメインは JAKMIP1 との相互作用を媒介します。 ,機能: 非受容体型チロシンキナーゼで、IFN- $\alpha/\beta/\gamma$ シグナル経路に関与します。 インターロイキン-2 受容体のキナーゼパートナーです。 ,配列注意: 翻訳により N 末端が延長されます。 ,類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。 Tyr タンパク質キナーゼファミリー。 JAK サブファミリー。 ,類似性: FERM ドメインを 1 つ含む。 ,類似性: タンパク質キナーゼドメインを 1 つ含む。 ,類似性: SH2 ドメインを 1 つ含む。 ,細胞内局在: 完全に細胞内、おそらく膜結合型。 ,サブユニット: IL31RA、JAKMIP1、および SHB と相互作用する。 ,組織特異性: 原発性大腸腫瘍では正常大腸組織よりも高いレベルで発現する。 転移性大腸腫瘍における発現レベルは正常大腸組織における発現レベルと同程度である。 ,

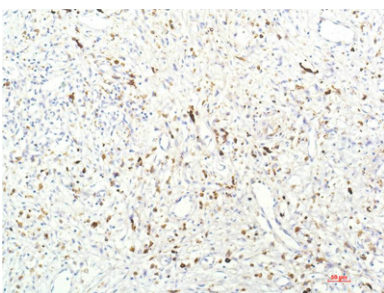
研究分野

Jak_STAT;がんの経路;膵臓がん;

画像データ



1:200 に希釈した JAK1 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。



1:200 に希釈した JAK1 マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学分析。